

医療連携センター年報

第12号

2018年

岐阜大学医学部附属病院

注意：ホームページでは公開していないページもありますのでご了承ください。

目次

第1章. 医療連携センターの概要

- I. 医療連携センターの組織・機能図
- II. 医療連携センター職員の役割

第2章. 業務報告

- I. 病診連携業務・セカンドオピニオン・地域連携パス
 - 1. 月別紹介率と逆紹介率
 - 2. 診察・検査予約、セカンドオピニオン実施の状況
 - 3. 地域連携パス
 - 4. アライアンスパートナーズ／医療機能連携協定締結医療機関一覧
- II. 相談実施状況
- III. 医療連携週間

第3章. 会議報告

- I. 平成30年度医療連携センター運営委員会
- II. 岐阜地域医療連携講演会
- III. 平成30年度岐阜県がん診療連携拠点病院協議会専門部会 患者相談専門部会
- IV. 第15回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会参加
第5回日本医療連携研究会 - 国立大学部門 - 学術集会
- V. 岐阜大学医学部附属病院地域医療連携等情報交換会

第4章. 教育活動報告

- I. 医療連携センター研修
- II. 地域医療連携セミナー（アライアンスパートナーズ対象）

第5章. 広報活動報告

- I. 医療連携センターニュース

第1章 医療連携センターの概要

I. 医療連携センターの組織・機能図

【 構成 】

医療連携センター長
 医療連携副センター長
 医療連携センター専任看護師（看護師長・副看護師長・看護師）
 ソーシャルワーカー
 医療連携センター事務職員

【 組織図 】

医療連携センターの組織は、図1のとおりである。

【医療連携センターの役割と機能】

- ①医療の機能分担明確化と病診連携による効率的な医療を提供する体制の充実
- ②効率的な退院ケアのできる体制の整備
- ③患者・家族の抱える様々な問題に対する支援のための相談窓口
- ④難病医療拠点病院連携協議会の事務局
- ⑤当院と地域医療ネットワークをリンクさせる窓口の統合と管理システム

医療連携センターの運営機能図を図2及び図3に示し、「退院支援に関する連携図」を図4に示した。

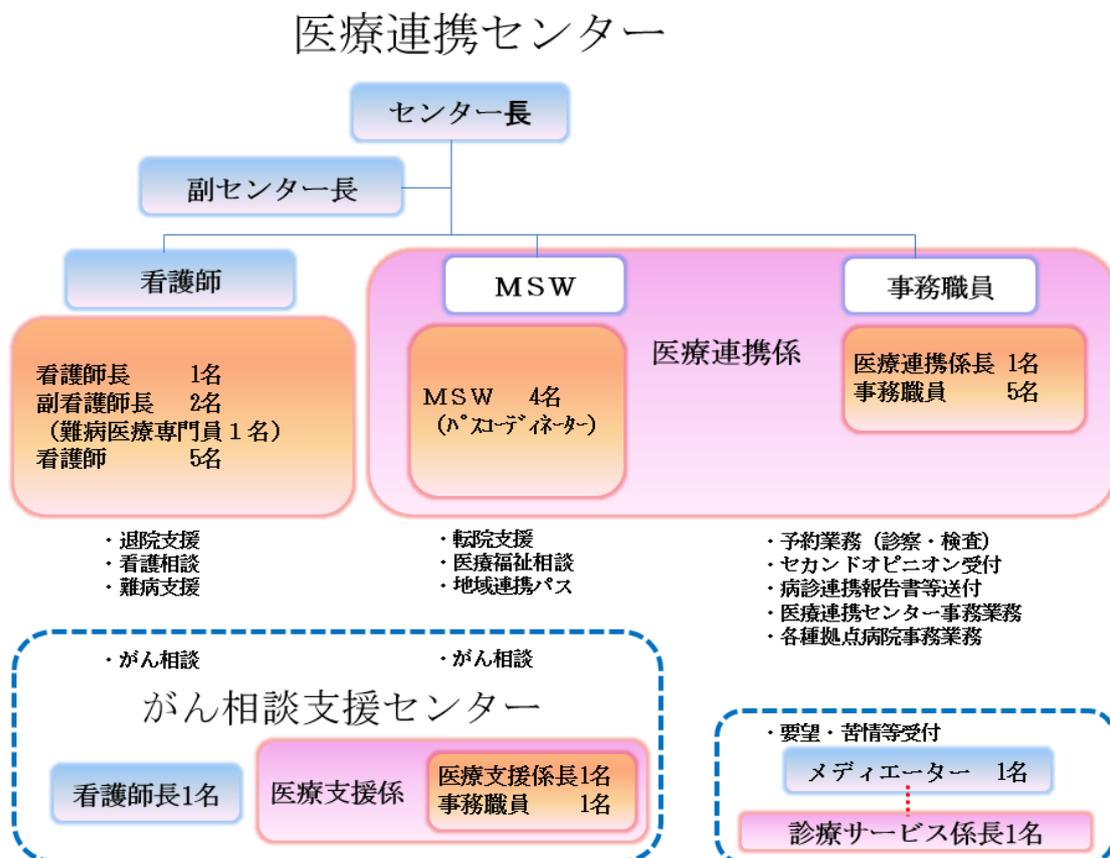
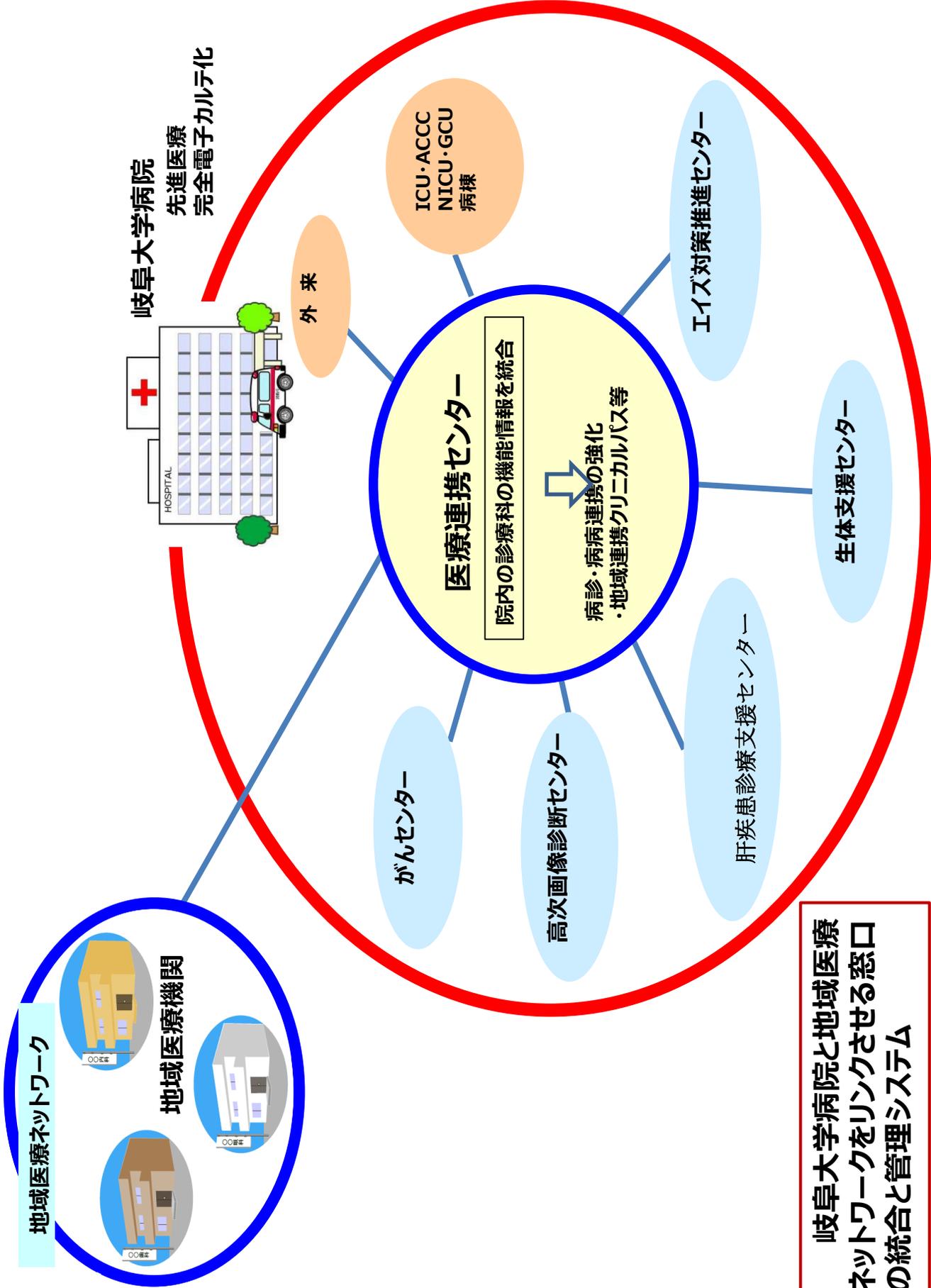
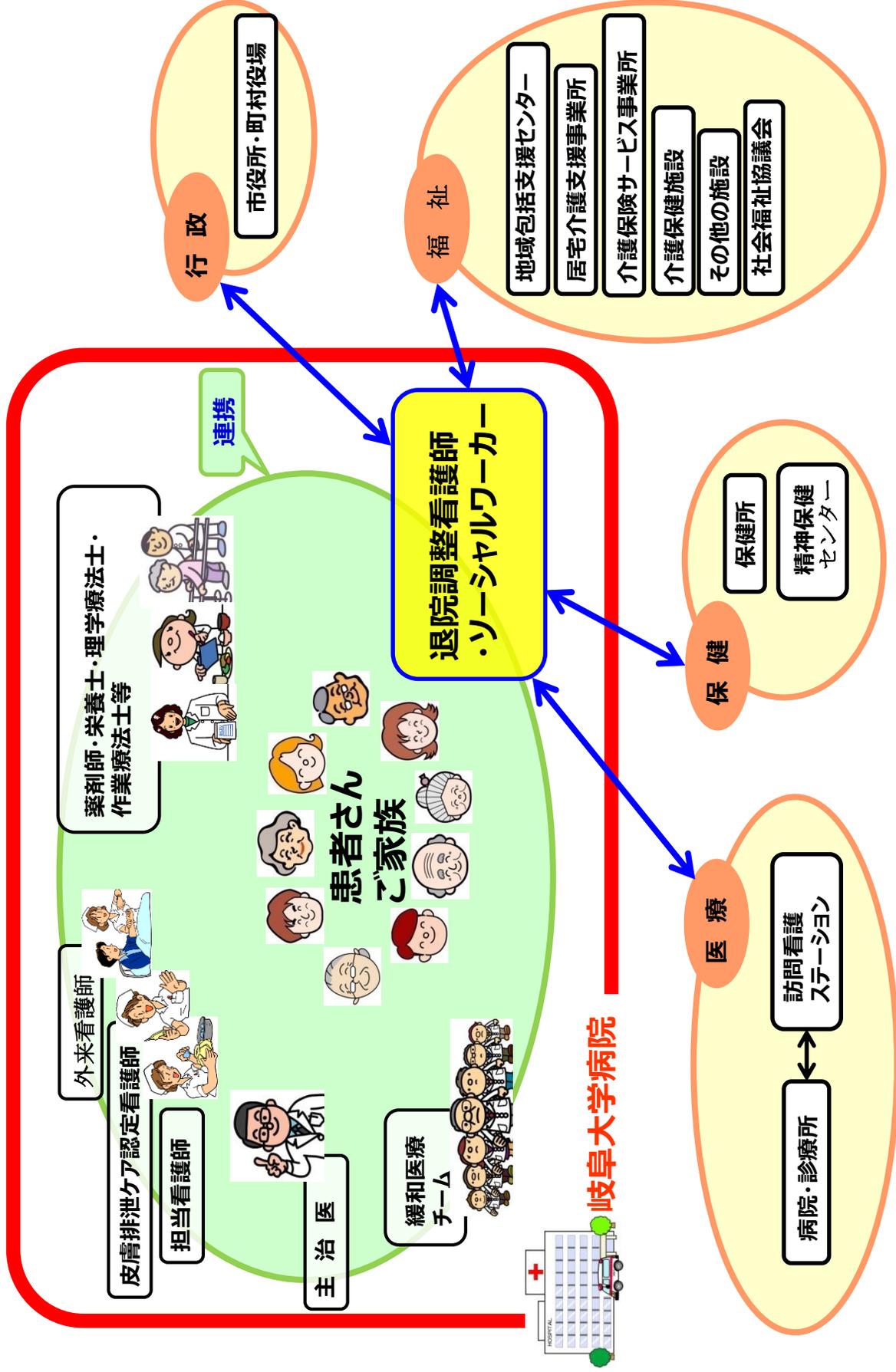


図1 医療連携センターの組織 平成30年3月

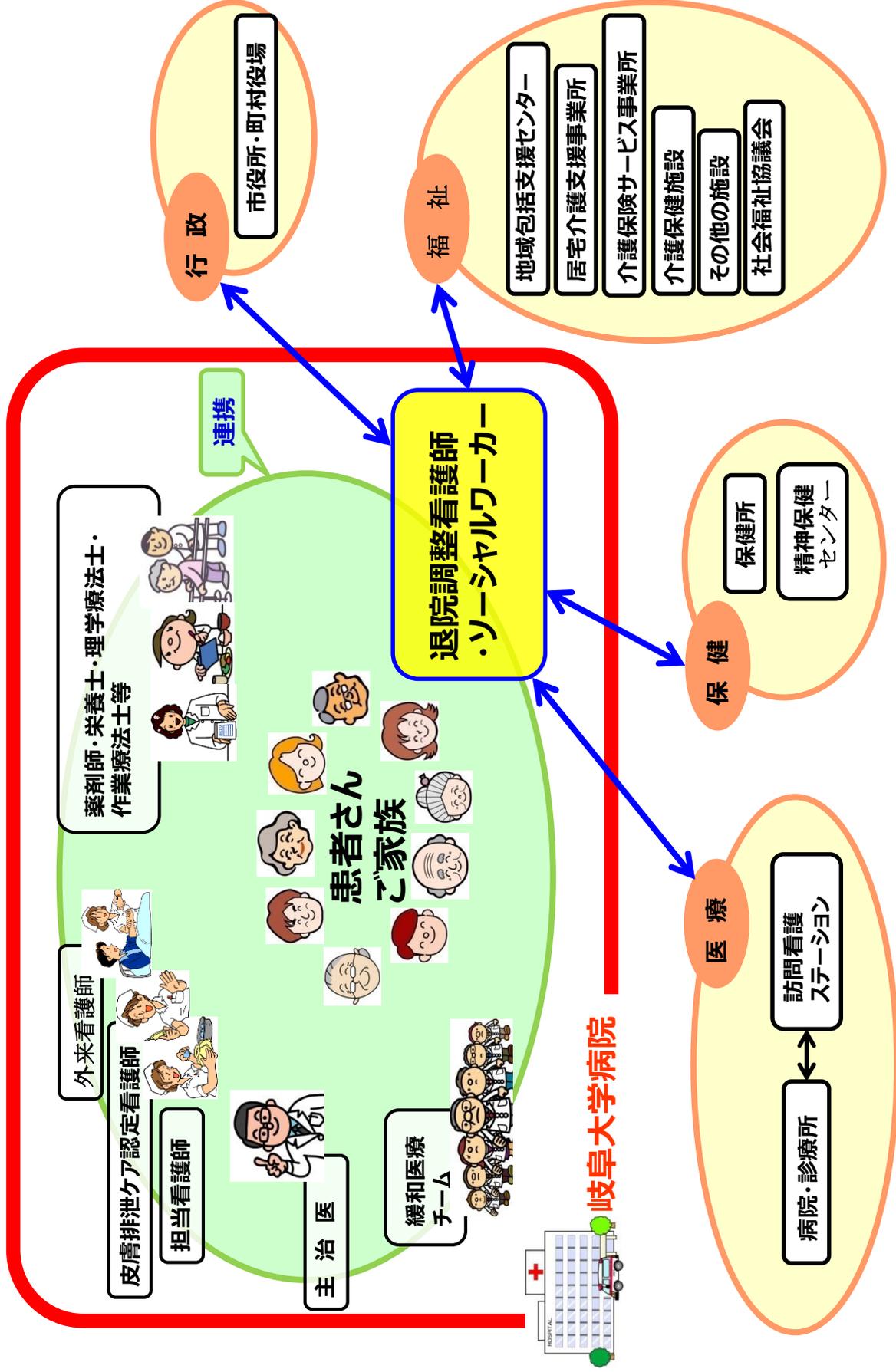


岐阜大学病院と地域医療ネットワークをリンクさせる窓口の統合と管理システム

退院支援



退院支援



II. 医療連携センター職員の役割

医療連携センター職員の役割を表1に示した。

表1. 医療連携センターの役割

職 務 名			役 割
医療連携センター（全員）			1. 医療連携センター運営委員会の運営 2. 医療連携センター研修会企画運営 3. 医療連携センター内検討会運営
医療連携センター長			1. 医療連携センター運営統括 2. 岐阜県医師会、岐阜市医師会との連携 （関連会議に出席、研修会・学会などの講演等）
医療連携副センター長			1. 医療連携センター運営管理 2. 岐阜県医師会、岐阜市医師会との連携 （関連会議に出席、研修会・学会などの講演等）
看護部	看護師	看護師長 1名	1. 医療連携センター看護師・看護業務の管理 2. 相談業務（看護） 3. 看護学生等実習受け入れ体制の整備
		退院調整看護師 2名 （副看護師長 1名、 スタッフ 1）	1. 在宅に退院する患者の退院調整 2. 相談業務（看護） 3. がん相談支援センターの運営 4. 地域医療福祉関係者からの相談 5. 看護学生等実習受け入れ
		難病医療専門員 1名 （副看護師長）	1. 難病医療の確保に関する関係機関との連絡調整 2. 福祉施設等への医学的指導、助言 3. 協力病院等の医療従事者向けの難病研修会の開催 4. 難病患者の療養環境改善のための政策提言 5. 看護学生実習受け入れ
		入院センター担当 看護師 5名	1. 入院センターの運営

看護部	看護師	がんセンター 看護師長	1. がん相談支援センターの運営 2. がん患者サロンの運営
		メディエーター 看護師長	1. 要望・苦情等受付

職 務 名			役 割
事務部	医療連携係	係長 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療連携センター事務業務の管理 ・ 拠点病院事務（肝疾患診療支援センター、難病医療連絡協議会、エイズ対策推進センター） ・ 医療連携センター広報関連 ・ セカンドオピニオン ・ 転院もしくは社会復帰・社会的問題のある患者の退院調整 ・ 相談業務（経済・社会保障・生活上の問題等） ・ 地域連携パス（脳卒中）関連業務 ・ がん相談支援センター関連業務 ・ 地域医療福祉関係者からの相談 ・ 看護学生等実習受け入れ ・ パスコーディネーター業務 （必要書類作成、患者家族への説明、医療機関との調整、パスモニター、地域医療機関関係者との会議等に参加） ・ 予約業務 （診療及び検査予約、セカンドオピニオン・女性相談） ・ 拠点病院事務（肝疾患診療支援センター、難病医療連絡協議会、エイズ対策推進センター） ・ 医療連携センター広報関連 ・ 病診連携に係る報告書等の送付
	ソーシャル ワーカー	係員 4 名 （内 1 名パスコーディネーター）	
		医療連携係員 5 名	

事務部	医療支援係	係長 1 名 がん相談員 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ がんセンター事務業務の管理 ・ 拠点病院事務（がん診療連携拠点病院） ・ がん患者サロンの開催 ・ がん患者サロン学習会の開催
	診療 サービス係	係長 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要望・苦情等受付

第2章 業務報告

I. 病診連携業務・セカンドオピニオン等の実施状況・地域連携パス

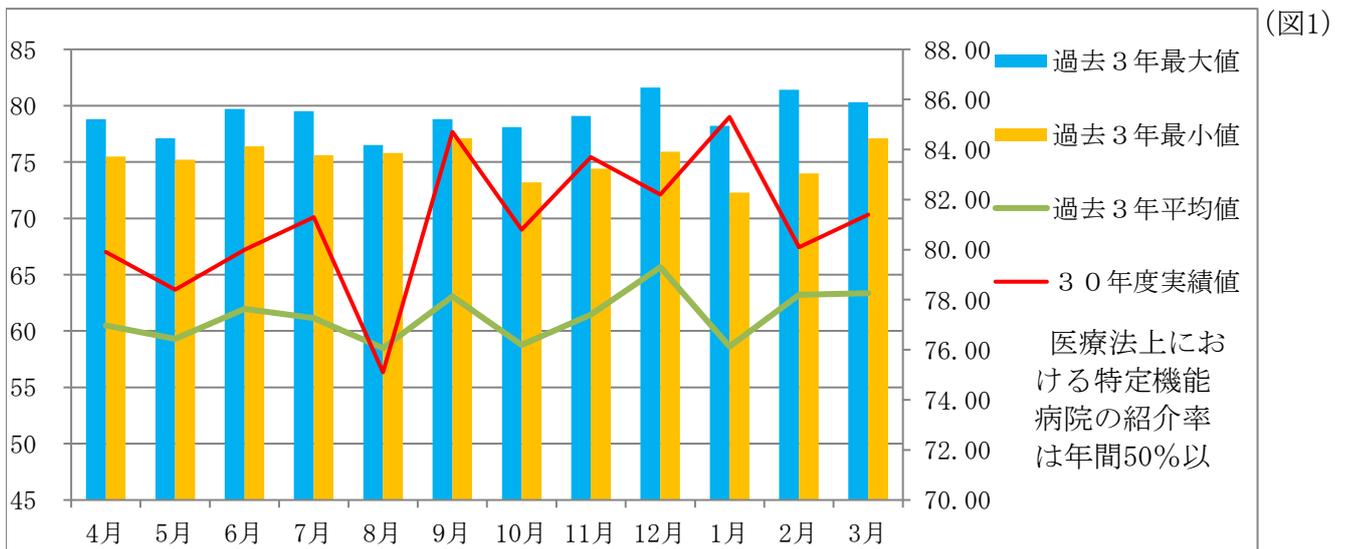
1. 月別紹介率と逆紹介率

岐阜大学医学部附属病院の月別紹介率と逆紹介率の年次推移は以下のとおりである。

月別紹介率（平成27年度～平成30年度）

（表1）

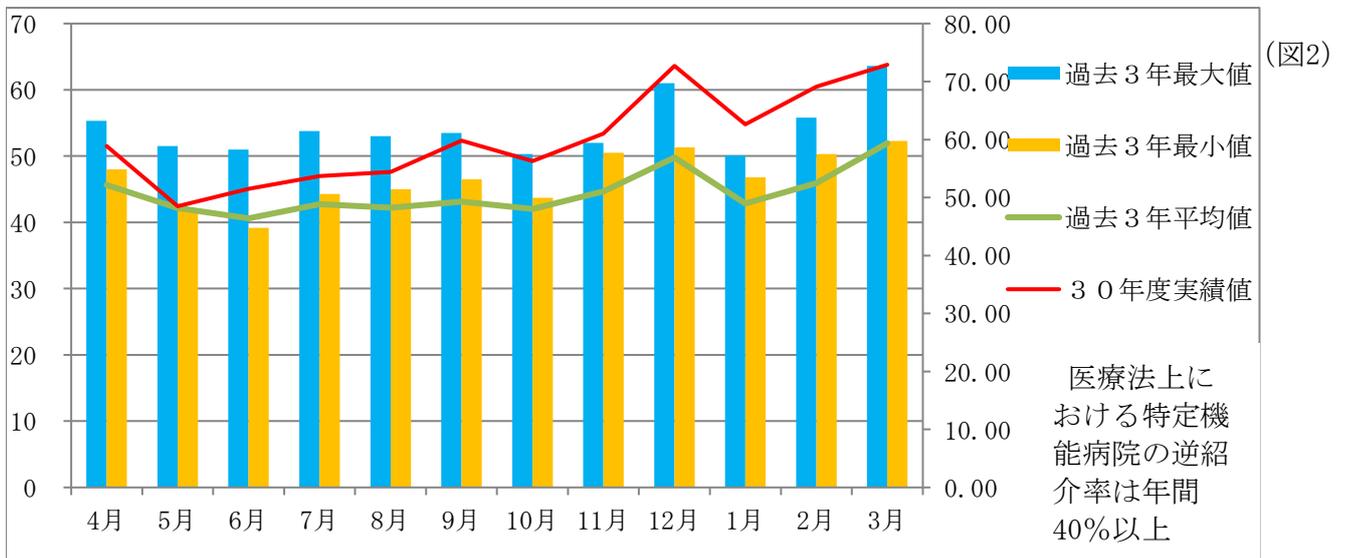
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成27年度	75.5	77.1	76.4	75.6	75.8	77.1	73.2	74.4	75.9	72.3	74.0	77.4	75.4
平成28年度	78.8	77.0	76.8	76.7	76.5	78.5	77.3	78.7	80.4	77.9	79.2	77.1	77.9
平成29年度	76.6	75.2	79.7	79.5	75.9	78.8	78.1	79.1	81.6	78.2	81.4	80.3	78.7
平成30年度	79.9	78.4	80.0	81.3	75.1	84.7	80.8	83.7	82.2	85.3	80.1	81.4	81.0



月別逆紹介率（平成27年度～平成30年度）

（表2）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成27年度	48.0	41.9	39.2	44.3	46.8	46.5	43.7	50.7	51.3	49.9	50.3	52.3	47.0
平成28年度	53.2	51.5	51.0	48.5	53.0	47.9	50.0	52.0	61.0	50.1	51.3	62.2	52.6
平成29年度	55.3	51.2	49.0	53.8	45.0	53.5	50.3	50.5	58.4	46.8	55.8	63.6	52.8
平成30年度	58.9	48.5	51.5	53.7	54.4	59.8	56.3	61.0	72.7	62.6	69.1	72.9	59.9



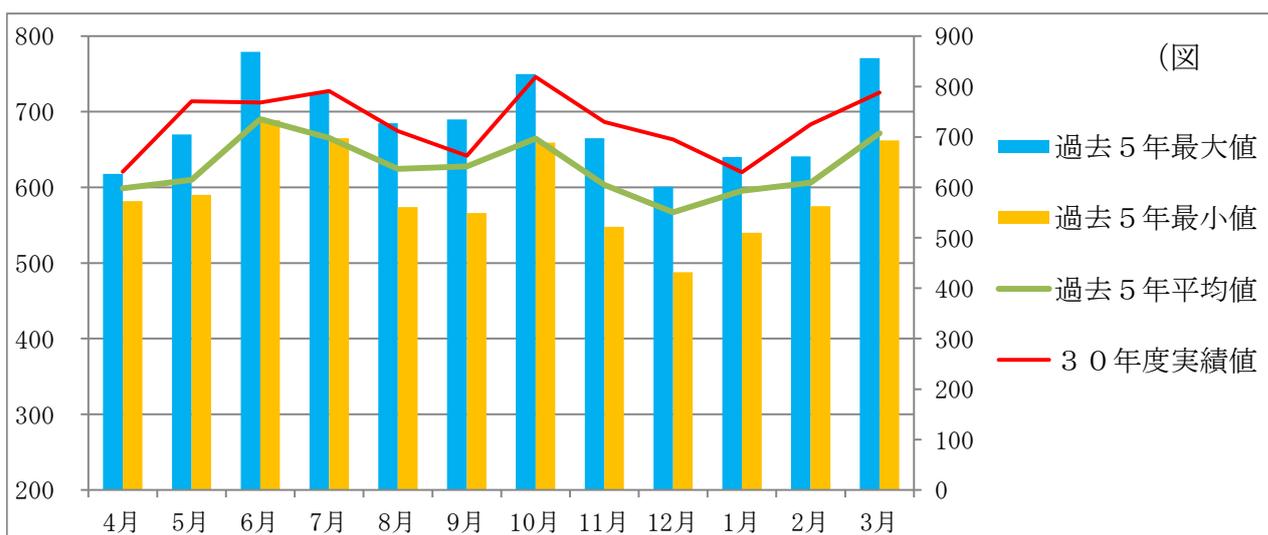
2. 診察・検査予約，セカンドオピニオン実施の状況

平成25年度から平成30年度の診察・検査予約の件数は下段のとおりである。
 診察予約については、過去5年の平均より件数が多かった。（表1、図1）
 検査予約については、過去5年の平均より件数が少なかった。（表2、図2）
 セカンドオピニオン実施件数は、月ごとに開きがあるが、今年度は過去5年の平均より
 件数が多かった。（表3、図3）

診察予約申込依頼件数

(表1)

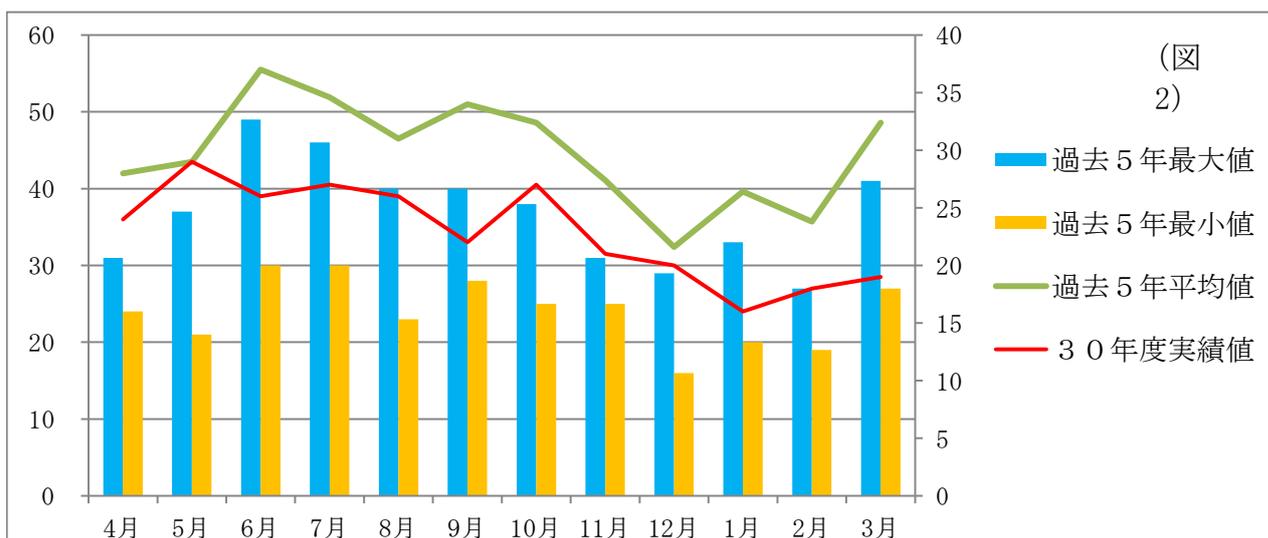
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成25年度	586	597	689	722	574	566	692	548	488	555	575	662	7,254
平成26年度	582	604	710	675	655	690	670	560	539	592	576	685	7,538
平成27年度	599	590	761	726	620	682	750	598	552	540	634	771	7,823
平成28年度	618	614	779	665	648	646	659	654	573	640	621	680	7,797
平成29年度	607	670	738	702	685	624	713	665	601	640	641	738	8,024
平成30年度	631	771	768	791	712	663	819	730	695	630	725	788	8,723



検査予約申込件数

(表2)

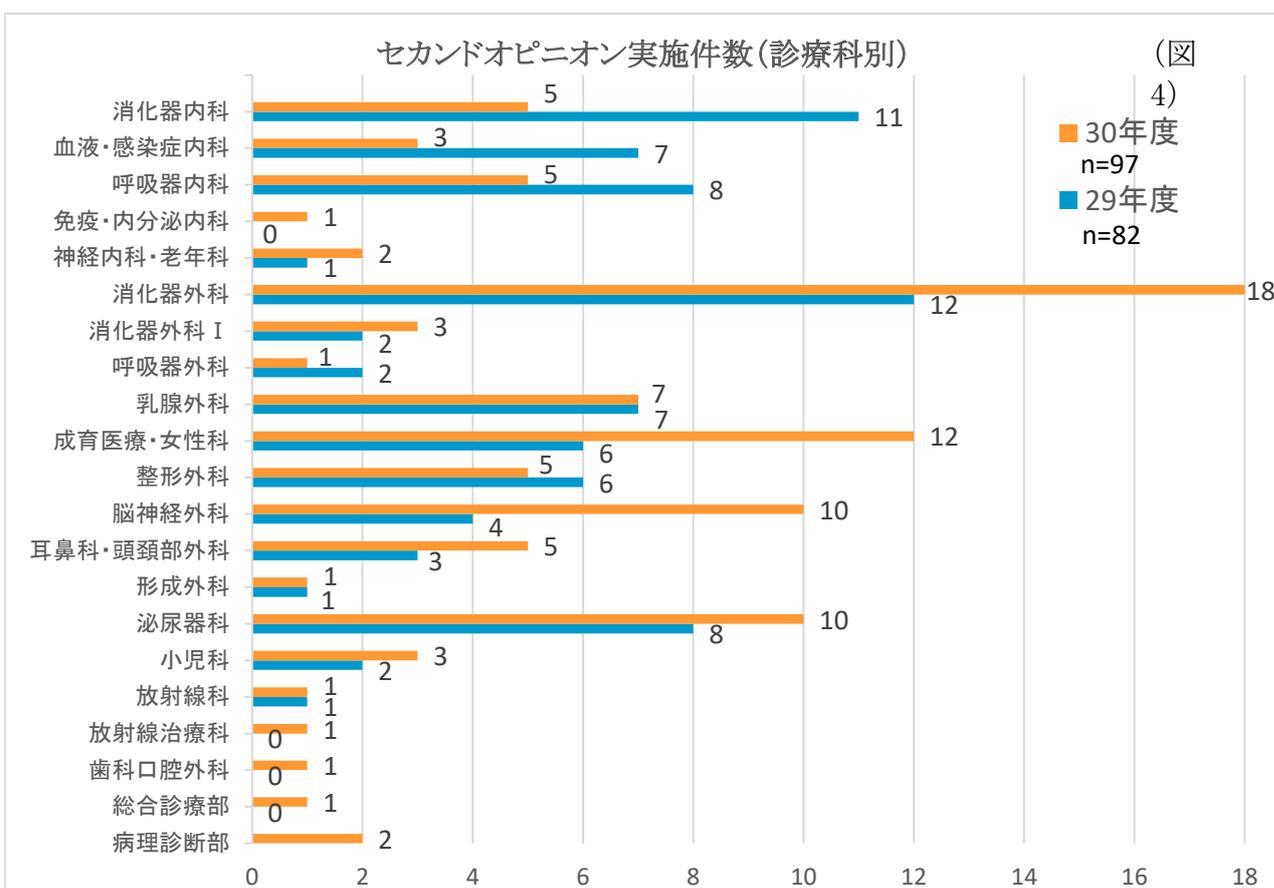
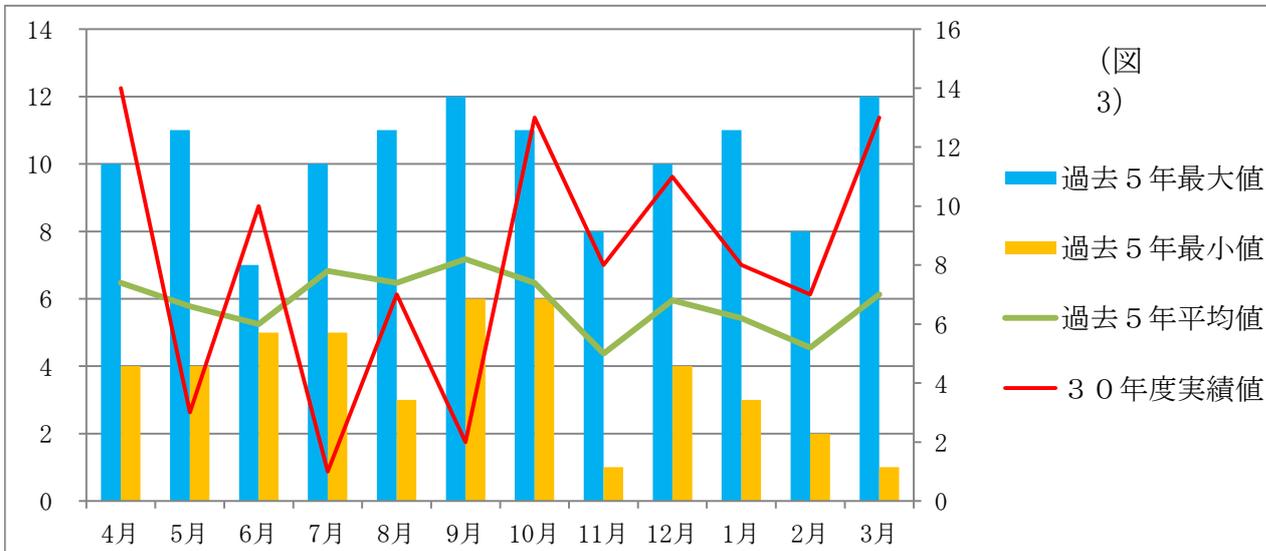
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成25年度	29	25	39	46	40	33	36	27	22	33	25	41	396
平成26年度	29	30	49	36	33	28	33	31	29	28	27	30	383
平成27年度	31	21	35	30	27	33	38	25	20	30	25	33	348
平成28年度	27	32	30	30	32	40	30	29	21	21	23	27	342
平成29年度	24	37	32	31	23	36	25	25	16	20	19	31	319
平成30年度	24	29	26	27	26	22	27	21	20	16	18	19	275



セカンドオピニオン実施件数

(表3)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成25年度	8	8	7	6	3	6	11	8	4	6	4	1	72
平成26年度	10	11	6	5	11	12	7	1	6	5	5	7	86
平成27年度	7	5	6	10	6	8	6	4	10	6	8	7	83
平成28年度	4	5	6	8	9	9	6	5	5	11	2	12	82
平成29年度	8	4	5	10	8	6	7	7	9	3	7	8	82
平成30年度	14	3	10	1	7	2	13	8	11	8	7	13	97



受診報告のFAX送信，郵便発送件数ともに増加しており，平成30年度は，FAXは15,627件送信，郵便は19,675件発送している。

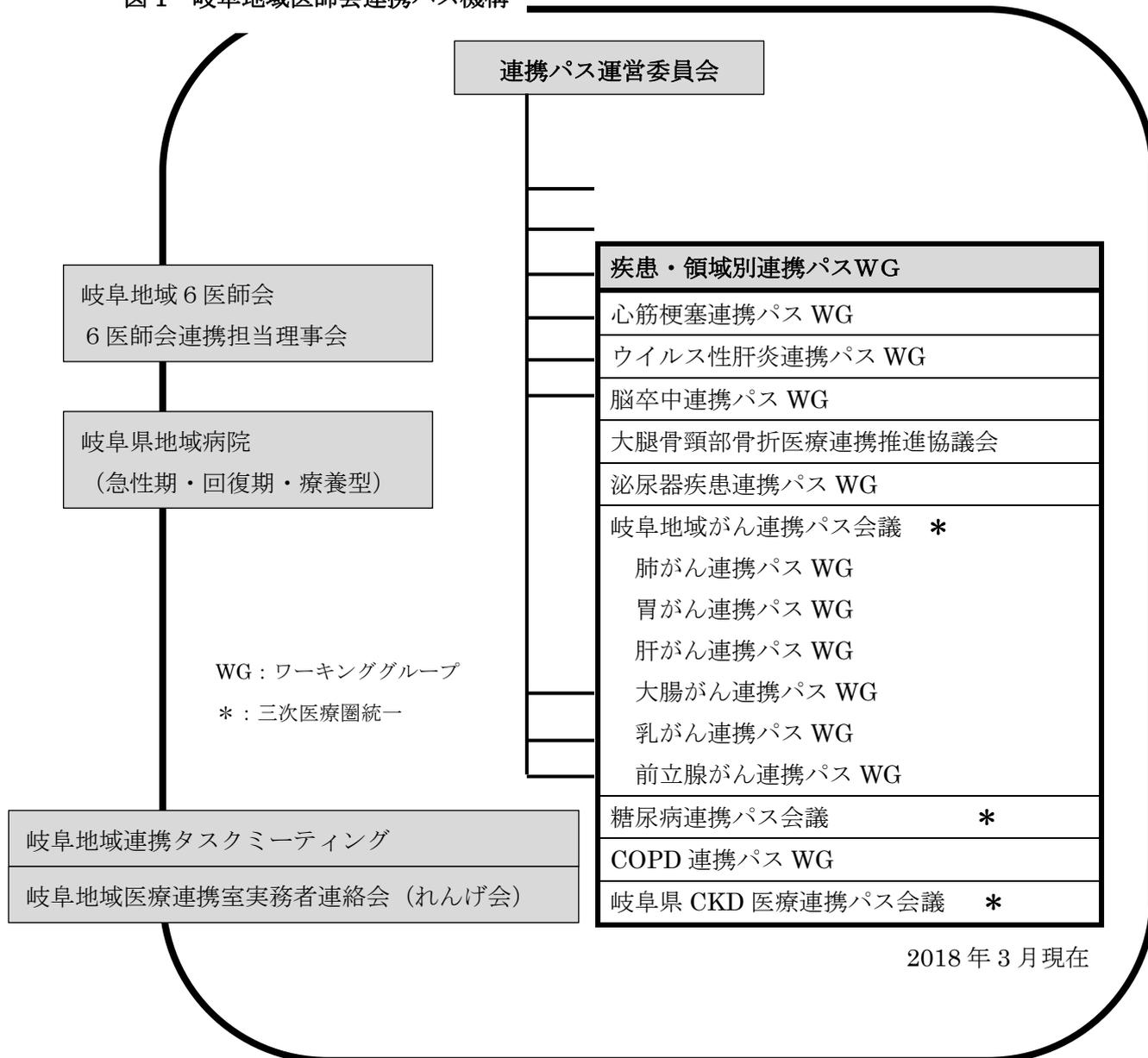
3. 地域連携パス

岐阜地域医師会連携パス機構（図1）

岐阜地域では、平成18年8月から地域内統一の連携パスの運用が開始され、地域内の様々な領域の医療者の参加を得て徐々に広がり、岐阜地域医師会連携パス機構が設立された。

また、岐阜地域の44医療機関（岐阜地域34・近隣10）と3組織が連携ネットワークに参加している（図2）。

図1 岐阜地域医師会連携パス機構



岐阜地域医療連携室実務者連絡会(れんげ会)参加医療機関・組織

(44 医療機関 (岐阜地域 34・近隣 10) ・3 組織)

-
- | | |
|------------------|---------------------------------|
| ・ 岐阜県総合医療センター | ・ フェニックス総合クリニック、フェニックス在宅支援クリニック |
| ・ 岐阜市民病院 | ・ みどり病院 |
| ・ 岐阜赤十字病院 | ・ 岐阜ハートセンター |
| ・ 村上記念病院→朝日大学病院 | ・ 関谷内科外科病院 |
| ・ 平野総合病院 | ・ 千手堂病院 |
| ・ 澤田病院 | ・ 操外科病院 |
| ・ 独立行政法人長良医療センター | ・ 大橋整形外科病院 |
| ・ 岩砂病院・岩砂マタニティ | ・ 松岡整形外科・内科リハビリテーション |
| ・ 山内ホスピタル | ・ 各務原リハビリテーション病院 |
| ・ 岐阜大学医学部附属病院 | ・ 社団法人岐阜病院 |
| ・ 羽島市民病院 | ・ 関中央病院 |
| ・ 松波総合病院 | ・ 中濃厚生病院 |
| ・ 山田病院 | ・ 郡上市民病院 |
| ・ 近石病院 | ・ 大垣徳洲会病院 |
| ・ 岐阜中央病院→岐阜清流病院 | ・ 尾西記念病院 |
| ・ 河村病院 | ・ 上林記念病院 |
| ・ 岐北厚生病院 | ・ 海津市医師会病院 |
| ・ 東海中央病院 | ・ 大雄会病院 |
| ・ 加納渡辺病院 | ・ 揖斐厚生病院 |
| ・ 愛生病院 | ・ 国保白鳥病院 |
| ・ 笠松病院 | ・ 岐阜市薬剤師会 |
| ・ 早徳病院 | ・ 岐阜市歯科医師会 |
| ・ 城南病院 | ・ 岐阜市医師会 |
| ・ 安江病院 | |
- 2018 年 3 月現在
-

図 2 連携ネットワーク参加医療機関名

平成 30 年 3 月末時点の本院における地域連携パス集計結果は、図 3 のとおりである。

図 3 地域連携パス運用件数

地域連携パス集計

(H30. 3. 31 現在)

		全数	運用中数	29 年度発行数
県内統一	胃がん	199	120	24
	大腸がん	341	241	44
	肺がん	28	18	3
	乳がん	302	207	47
	肝がん	10	4	1
	前立腺がん	1	1	0
	緩和ケア	20	2	0
小計		891	593	110
岐阜地域医師会	肝炎	10	0	0
	脳卒中	506	101	95
	CRG-Net	33	24	11
	COPD	9	2	0
	PSA	3	3	0
小計		561	130	106
県医師会	糖尿病	98	58	21
	CKD	8	7	0
小計		106	65	21
合計		1558	788	237

【補足】

- ・全数…各パス開始時から現在までのパス発行数
- ・運用中数…現在、本院で運用中の数

4. アライアンスパートナーズ／医療機能連携協定締結医療機関一覧

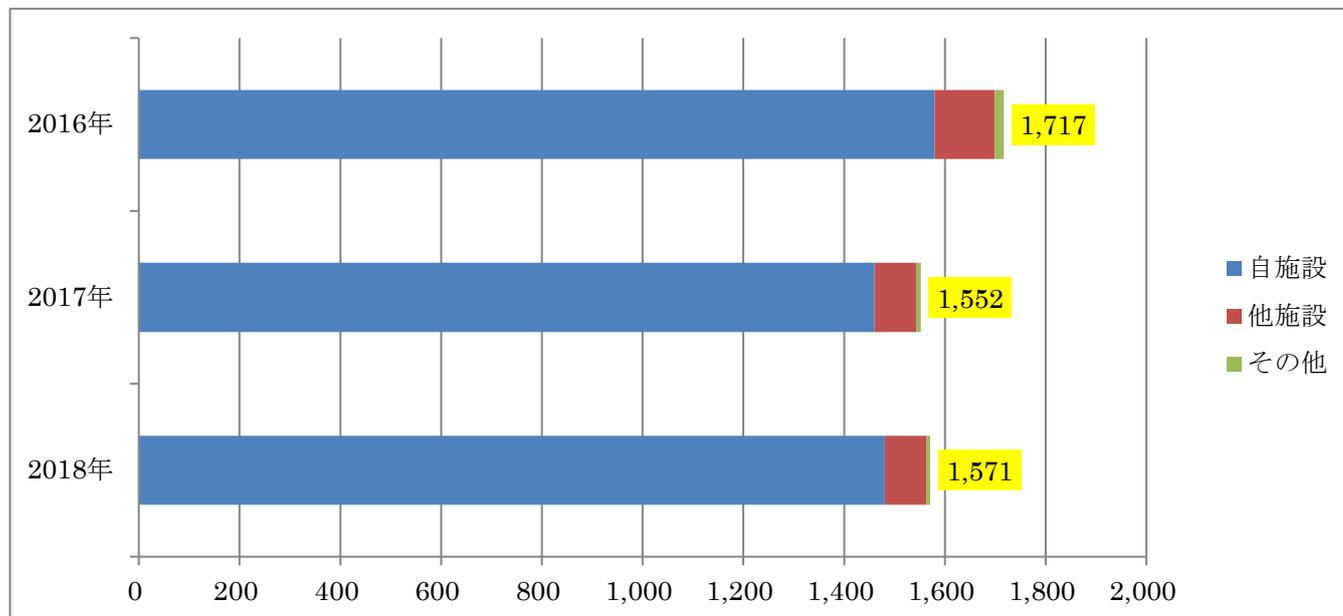
平成 29 年 4 月より国立大学法人岐阜大学医学部附属病院は、患者により適切な医療を提供するため、相互に有する医療機能を発揮し、連携を円滑に行うことにより質の高い医療環境を確保することを目指し、10 医療機関と相互が緊密な医療連携を図ることを目的として協定を締結しました。

平成 29 年 10 月には新たに 13 医療機関と協定を締結しました。

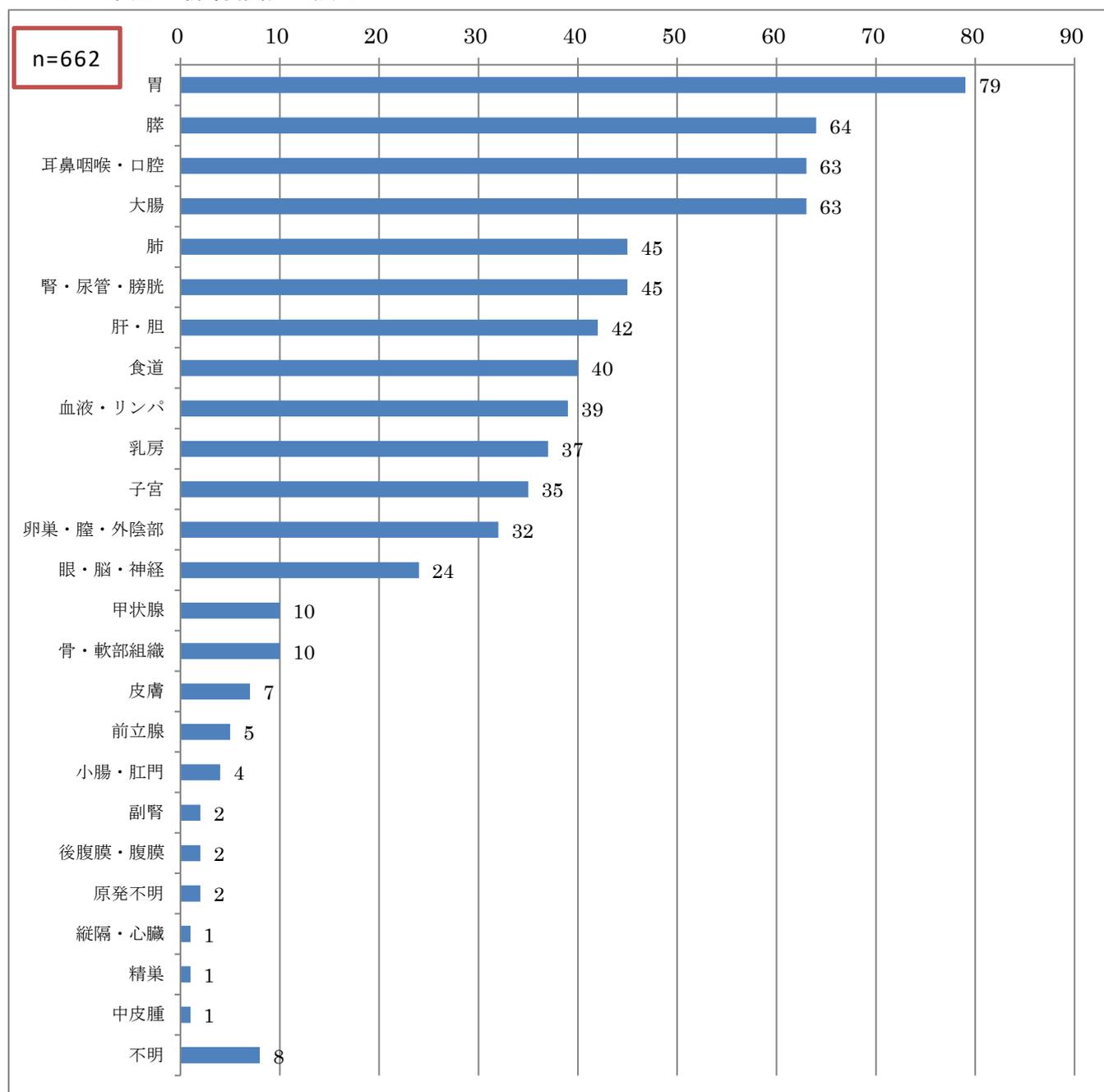
(平成 31 年 3 月現在)

医療機能連携協定締結病院 (平成 29 年 4 月 1 日～)		医療機能連携協定締結病院 (平成 29 年 10 月 1 日～)	
1	医療法人 清光会 岐阜清流病院	1	岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院
2	医療法人社団 誠広会 平野総合病院	2	美濃市立美濃病院
3	山内ホスピタル	3	公立学校共済組合 東海中央病院
4	医療法人社団 友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ	4	医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院
5	医療法人社団 幸紀会 安江病院	5	医療法人社団 厚仁会 操外科病院
6	岐阜県厚生農業協同組合連合会 揖斐厚生病院	6	医療法人社団 志朋会 加納渡辺病院
7	岐阜県厚生農業協同組合連合会 岐北厚生病院	7	医療法人 和光会 山田病院
8	羽島市民病院	8	医療法人社団 慈朋会 澤田病院
9	医療法人社団 登豊会 近石病院	9	医療法人 岐阜勤労者医療協会 みどり病院
10	医療法人 清友会 笠松病院	10	医療法人香徳会 関中央病院
		11	医療法人社団 カワムラヤスオメディカルソ サエティ 河村病院
		12	医療法人社団 橘会 新生病院
		13	医療法人社団 誠道会 各務原リハビリテーション病院

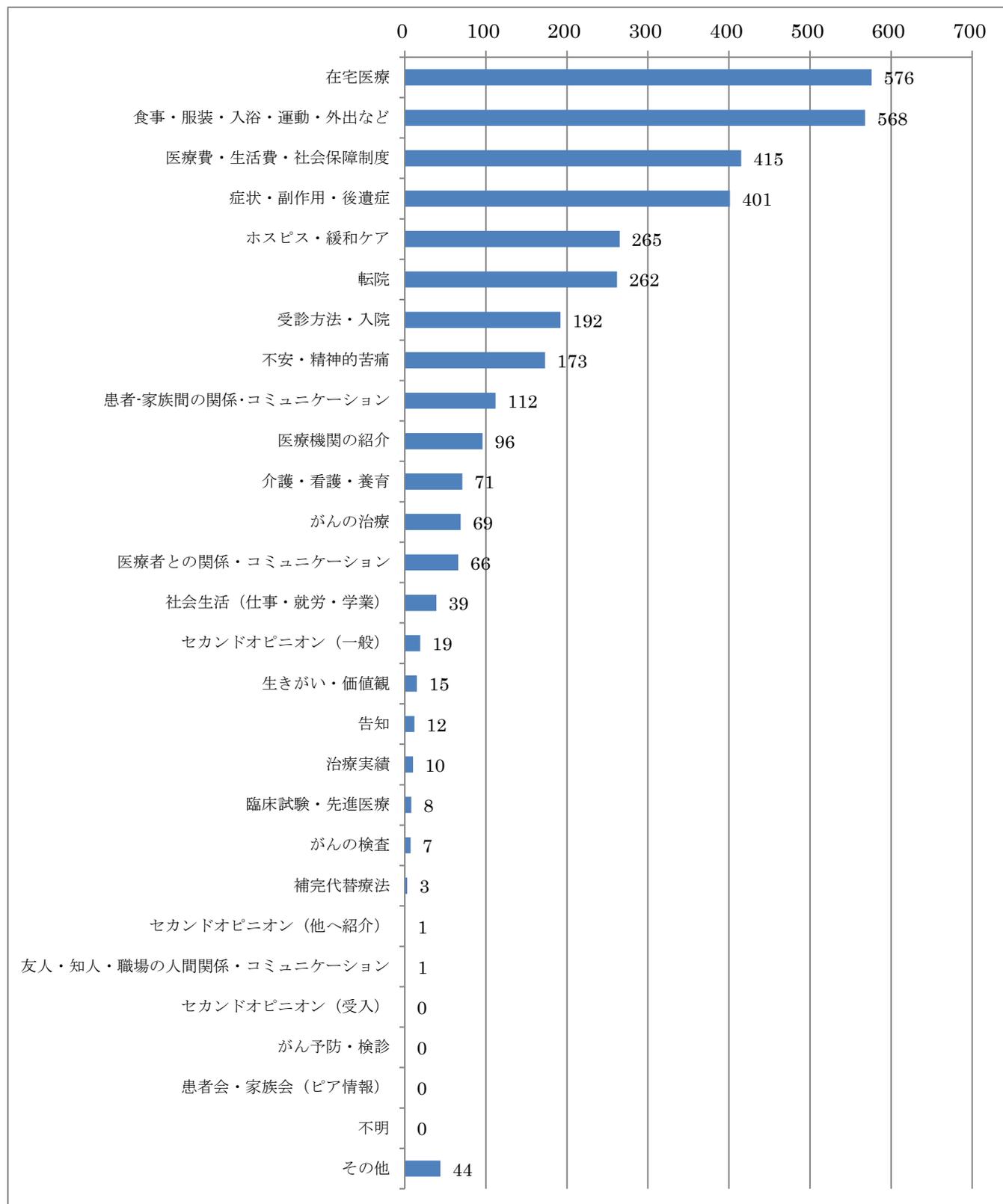
1：相談件数の年度比較（2017年～2018年）



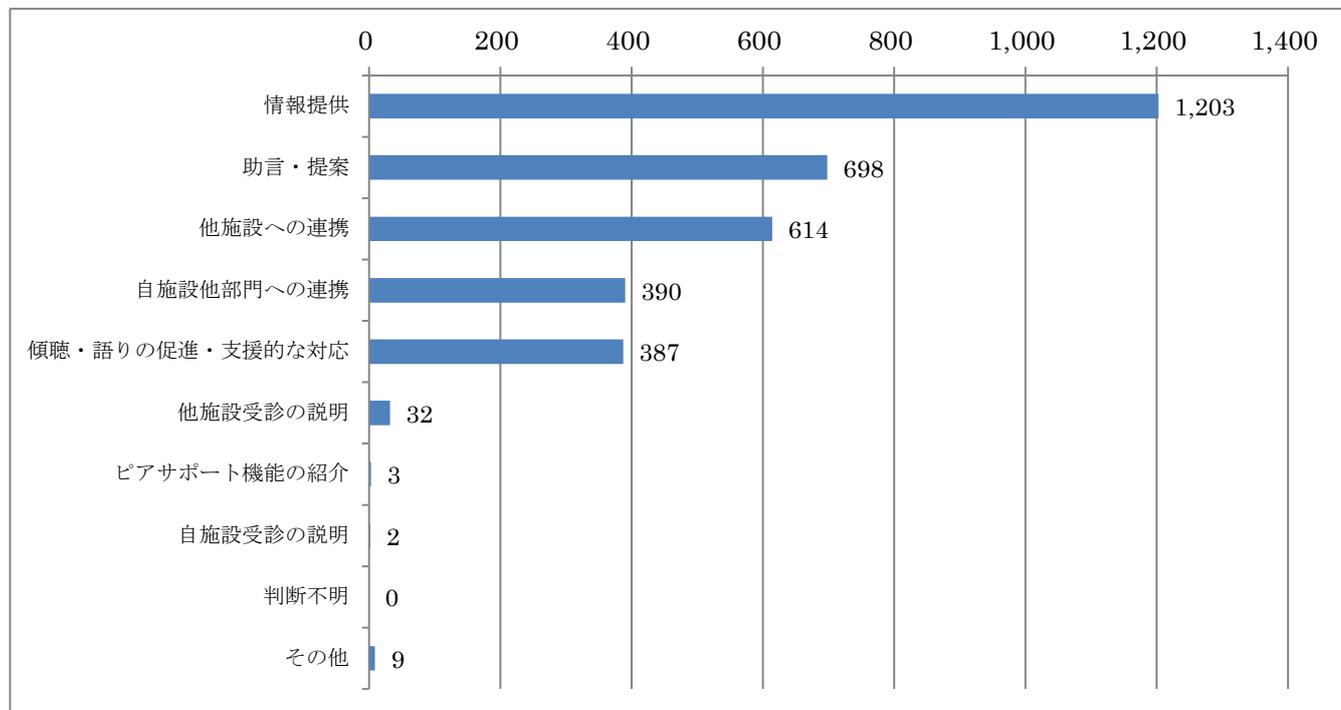
2：がんの部位（新規相談に限る）



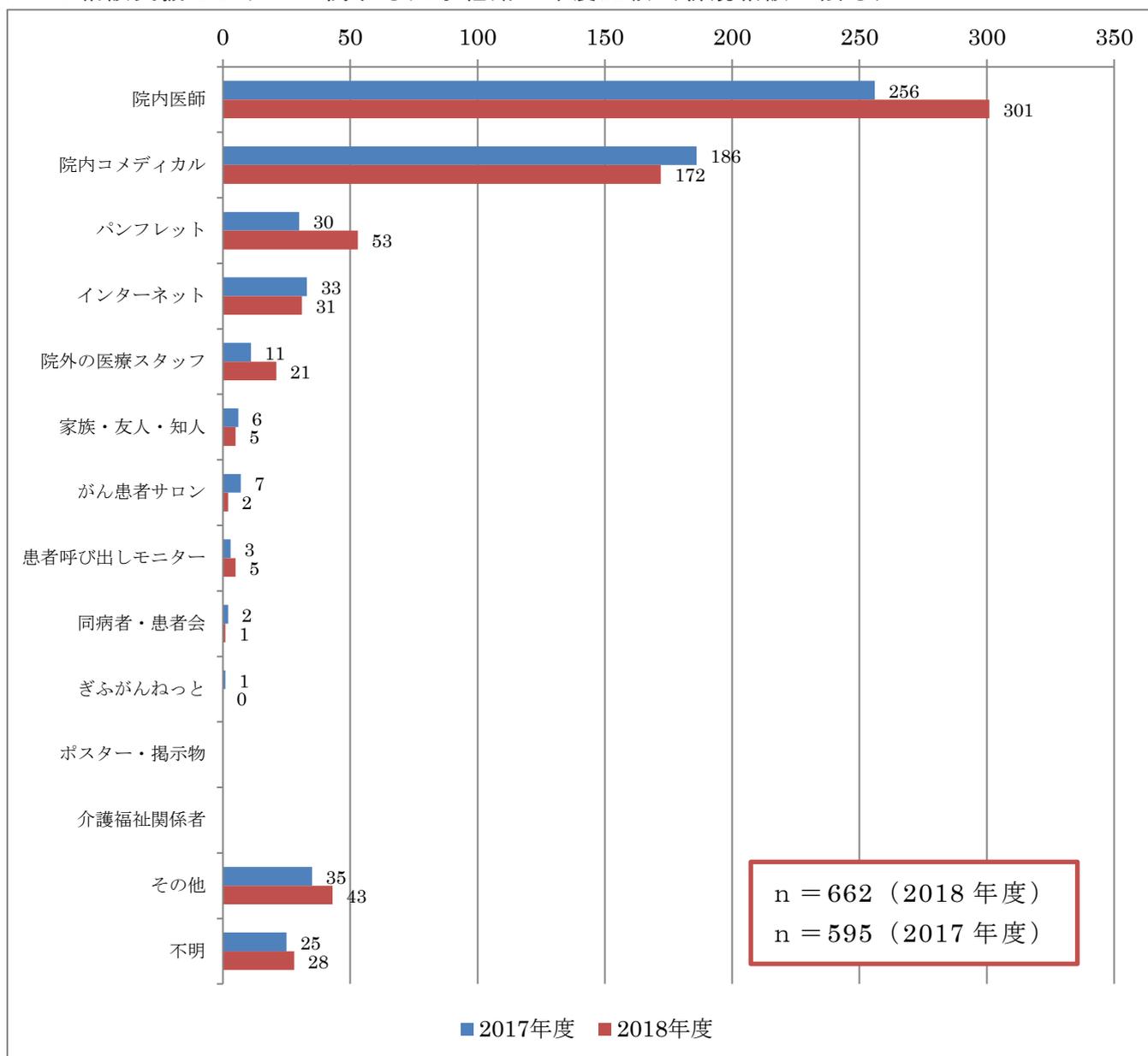
3：相談内容（重複あり）



4：相談対応（重複あり）

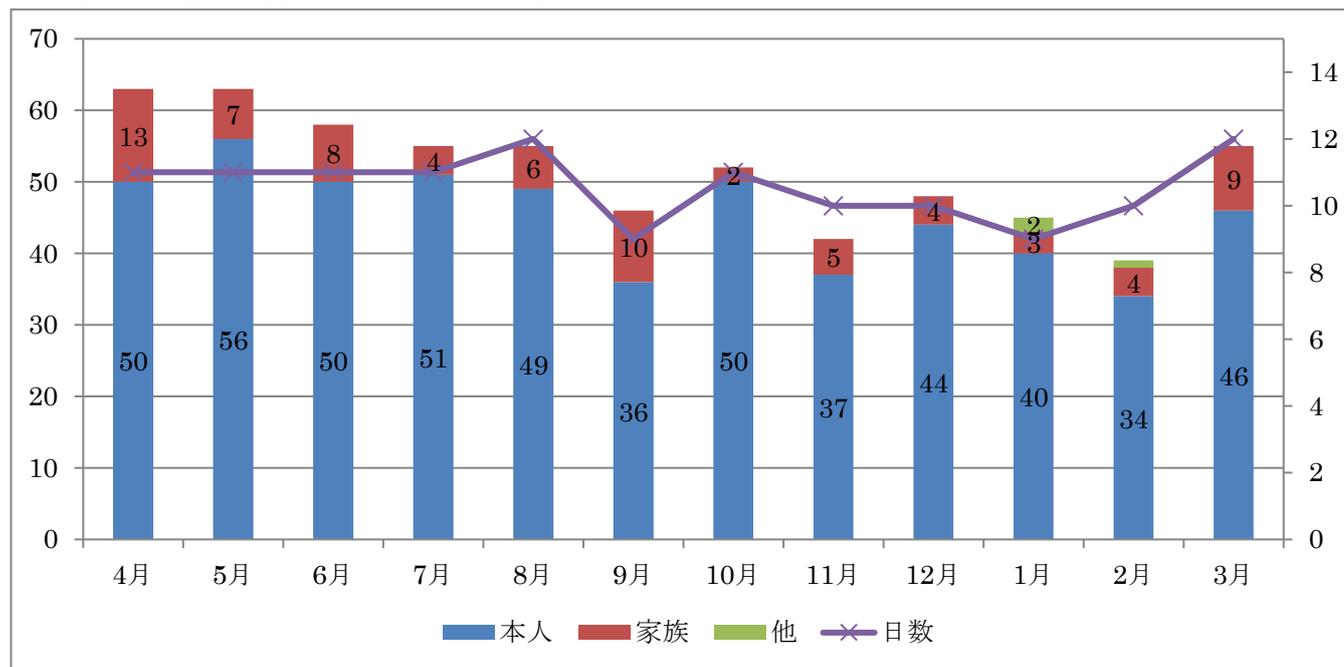


5：がん相談支援センターに関する入手経路の年度比較（新規相談に限る）



平成30年度 がん患者サロン利用状況

平成30年4月～平成31年3月までのサロン利用実績を図に示しました。稼働日数は、127日間で、来訪者の延べ人数は621人（1日平均4.9人）でした。



平成30年度 がんセンター公開講座・がん患者サロン学習会

開催	開催月日	講演テーマ内容	講師
1	6月18日 (月)	・治療効果を最大限に引き出すために	田中 善宏
2	9月19日 (水)	・食欲低下時にオススメのジュース 簡単レシピの紹介 ・塩分とりすぎていませんか？ お味噌汁で味覚チェック！	西村 佳代子
3	12月19日 (水)	・栄養補助食品ってどんな味？ 胃がん術後の食事 ・身体を温めて免疫欲を高めよう！	山田 彩乃 西村 佳代子
4	10月10日 (水)～11日 (木)	・なんでも相談	がんセンター員

社会保険労務士によるがん就労相談実績（平成 30 年度）

相談件数：18 件

仕事と治療の両立支援（平成 30 年度実績）

相談件数：0 件

ハローワーク岐阜による就職支援（平成 30 年度実績）

相談件数：492 件

採用件数：78 件

第3章 会議報告

II. 岐阜地域医療連携講演会

日時 平成30年4月28日(土)

会場 第1部 講演会の部 16:00~18:00 岐阜大学医学部記念会館
第2部 情報交換会の部 18:00~20:00

1. 目的

岐阜地域の医療連携のさらなる推進をはかる。

2. 目標

本講演会は2部制となっており、第1部は医療連携の話題を中心とした講演会、第2部は情報交流の場としており、岐阜大学病院のスタッフ紹介や診療科の特色を地域の医療機関の方々に知っていただく。

3. 内容

【講演会の部】

『睡眠による認知症予防』

岐阜大学医学部附属病院 神経内科・老年内科准教授 木村 暁夫 先生

『肺がんの外科治療～最近の知見～』

岐阜大学医学部附属病院 呼吸器外科教授 岩田 尚 先生

『大腸癌治療の最前線～岐阜大学腫瘍外科の取り組み～』

岐阜大学大学院医学系研究科寄附講座

がん先端医療開発講座特任准教授 松橋 延壽 先生

【情報交換の部】

病院スタッフによる紹介

1.第一内科 2.形成外科 3.泌尿器科 4.歯科口腔外科

参加各医師会のご挨拶

岐阜県、岐阜市、各務原市、羽島郡、羽島市、もとす、山県

4. 出席者

【講演会】 総計102人(参考H29年度 93人)

<院外>	59人	<院内>	43人
医師	43人	医師	33人
看護師	10人	看護師	3人
ケアマネージャー	2人	MSW	4人
事務	4人	事務	3人

Ⅲ. 第15回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会

1. 日時：平成30年7月6日（金）13：00～17：20
平成30年7月7日（土） 9：00～11：50
平成30年7月7日（土）12：15～16：00
2. 場所：徳島大学 大塚講堂 徳島県徳島市蔵本町3丁目18-15
3. 出席予定者：（医療連携センター：看護師）
（医療連携センター：メディカルソーシャルワーカー）
（医療連携センター：事務職）

※当日、西日本豪雨のため徳島に行く交通手段がなくなりやむなく欠席となった。
後日届いた当日資料から概要のみ抜粋し、記載。

4. 内容

1. 第15回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会

- 1) 連絡協議会議事報告 浜松医科大学医学部附属病院 医療福祉支援センター 小林俊彦
- 2) 基調講演 「大学病院を取り巻く諸課題」
文部科学省 高等教育局医学課大病院支援室 病院第二係 主任 高木涼香
大学改革の動向について、平成30年度予算について、大学病院を取り巻く諸課題について、
個人情報（患者情報）保護について
- 3) 連絡協議会アンケート報告 愛媛大学医学部附属病院 小手川雄一
- 4) 国立大学附属病院長会議将来像実現化WG 地域医療PT 報告
「多職種キャリアパスを用いて」 浜松医科大学医学部附属病院 小林利彦
- 5) 話題提供
総務省「クラウド型HER高度化事業」で採択された“徳島県全域を網羅するHER整備事業
について” 徳島大学病院 病院情報センター特任教授 玉木悠
- 6) ポスターセッション 入退院支援の取り組みについて
- 7) 特別シンポジウム「医療・介護報酬同時改定後の入退院支援のあり方～多職種の介入効果～」

2. 第5回日本医療連携研究会・研究集会

- 1) ランチタイム講演会
「佐渡地域連携ネットワーク『さどひまわりネット』の構築と地域包括ケアへの展開」
演者 新潟県厚生連佐渡総合病院 病院長 佐藤賢治
- 2) 第5回日本医療連携研究会総会
日本医療連携研究会 理事長・第5回日本医療連携研究会・研究集会会長 小林利彦
- 3) 特別講演「徳島県と協働した地域包括ケア市捨て字の深化・推進～2020年に向けて～」
徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域医療福祉学分野・口腔保健福祉学分野 教授 白山靖彦
- 4) 話題提供「とくしまゼロ作成課のとりくみ」
徳島県危機管理部 とくしまゼロ作戦課 谷寛文
- 5) 活動紹介 徳島連携医療うずの会

6) 一般演題

「退院支援加算1」非算定理由についての分析

長崎大学病院 総合患者支援部 地域医療連携センター 本村美奈
地域包括ケアと IPW (Interprofessional Work) を支える回りハ病棟を目指して

新潟医療生活協同組合 木戸病院 リハビリ科 本間毅
福井大学全県展開をめざす卒前卒後 IPE セミナーの試み

福井大学 看護学科地域看護学講座 夏梅るい子

8) ミニレクチャー

「IPW を上手く機能させるための Teaming」

浜松医科大学医学部附属病院 医療福祉支援センター センター長 小林利彦

第4章 教育活動報告

I. 医療連携センター研修

平成30年度 第1回「医療連携センター セミナー」の開催について

平素より医療連携センターの活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

平成30年度診療報酬改定でも退院支援は重要な鍵となっており、従来の退院支援加算は入退院支援加算と名称変更されました。本院の入院センターでは入院前からの退院支援の視点で、入院の決まった患者へ入院中の治療や入院生活に係る計画に必要な情報を収集し退院支援に繋ぐ役割を担っています。

このセミナーでは、看護師が「入院時におこなう入退院支援」と題して講演します。各病棟で入院時からどのような入退院支援が必要とされるのか、入退院支援の流れ、必要な業務(書類作成)等の理解を深めるとともに、参加されたみなさんと事例を課題とした書類作成を実践し、医療連携センタースタッフと共に入退院支援を考えたいと思いますので是非、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 講 題 「入院時におこなう入退院支援」

1) 入退院支援の流れについて

- ・いつ、どんな書類を作ればいいのか？

退院支援リスク・スクリーニング票・退院支援計画書

- ・患者、家族にどんな説明をすればいいのか？
- ・入院前から始まっている入退院支援とは？

2) 事例を通して、2つのシートを作成してみよう！

2. 講 師 医療連携センター 看護師

3. 日 時 平成30年6月27日(水曜日) 17:30～18:30

4. 場 所 病院1階 多目的ホール

Ⅲ. 地域医療連携セミナー（アライアンスパートナーズ対象）

地域医療連携セミナー



日時 2018年11月9日(金)18:30~20:30

場所 グランヴェール岐山5階孔雀

情報提供 18:30~18:45

開会のご挨拶 18:45~18:50

医療法人社団 登豊会 近石病院 理事長 **近石 登喜雄** 先生

講演Ⅰ 18:50~19:30

座長: 岐阜大学大学院医学系研究科 内分泌代謝病態学 臨床教授
岐阜大学医学部附属病院 医療連携センター 副センター長 **堀川 幸男** 先生

膵癌診療の現状と当科での取り組み

岐阜大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野

臨床講師 **岩下 拓司** 先生

講演Ⅱ 19:30~20:10

座長: 岐阜大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 教授
岐阜大学医学部附属病院 医療連携センター センター長 **清水 雅仁** 先生

大腸がん～最善の治療戦略～

岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学分野

がん先端医療開発学講座 客員准教授 **松橋 延壽** 先生

特別発言 20:10~20:25

岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学分野 教授

岐阜大学医学部附属病院 病院長 **吉田 和弘** 先生

閉会のご挨拶 20:25~20:30

社団医療法人かなめ会 山内ホスピタル 理事長 **山内 英通** 先生

第5章 広報活動報告

こちらの研修会は
好評で終了しました。

医療連携センターニュース

2018年7月10日 No.1

発行元 医療連携センター

平成30年6月27日(水) 医療連携センターセミナーを開催しました

今回は退院支援のプロセスの一部として、「入院時におこなう入退院支援」として

1. 入退院支援加算2のプロセスについて
2. 事例を通して書類をつくってみよう！
退院リスク・スクリーニング票・入退院支援計画書
3. 在宅療養を見据えて、患者・家族に説明しよう！
4. クリニカルフローを活用して入退院支援計画書を作ります
5. 地域関係者(ケアマネ)と連絡とってみましょう

以上の内容でセミナーを開催しました。

早く退院して仕事に戻りたいです。
(患者役：堀川先生)

入院後の食事と薬の調整をします。退院後は、安心して自宅で生活できるようお手伝いします。何かお気がり事はありますか？(退院調整係看護師)



「退院支援計画書」説明の様子

質問：
医療連携センターの
ソーシャルワーカー
は何名でしょうか？
答え：5名です！



アンケートの結果も9割以上がよかったとの回答でした

Q：研修内容の理解について	人数 n=42名
大変分かりやすかった	21人 (50%)
分かりやすかった	21人 (50%)
ふつう	0人 (0%)
分かりにくかった	0人 (0%)

参加者 49名

看護師(レベルⅡ以上)が多数
他に、医師・SW・事務職員
ありがとうございました

Q：今後の業務に役立ちますか？	人数 n=42名
大変役に立つ	23人 (55%)
役に立つ	19人 (45%)
役に立たない	0人 (0%)

ご参加 ありがとうございました。

《気づき》

- ・計画書の不明点・不足点・説明方法がわかった
- ・必要な情報収集とアセスメントが重要
- ・退院支援の方向性を導く視点
- ・事例を通してわかりやすかった
- ・入院時から退院を見据えることが重要
- ・患者家族と同じ目標をもって医療に取り組む
- ・外来で在宅療養支援の患者抽出をするポイント